

2706A 27 マチックレディ ウィークデー

1) 仕様

機械落径	17.20mm
機械厚ミ	5.70mm
テンプレ振動数	28,800回/時
自動巻 (手巻装置付)	
カレンダー (日付・曜日・曜文字和英切換機構・日・曜早修正装置付)	

2) 特長

豊富な機能を有した婦人用腕時計

従来婦人用腕時計はその大きさからみて多くの機能を備えることは困難とされてきましたが、キャリバー2706は最も豊富な機能を有した婦人用腕時計です。

精度の安定したムーブメント

自動巻機構は定評のあるマジックレバー式で効率よく巻上げ、高振動(8振動)により精度も充分安定しており更に手巻装置も備えています。

簡単な操作の日・曜修正装置

リュウズ二段目で左右回転により日、曜修正ができ更に和英切換も同時に極めて簡単に操作できます。

見やすいカレンダー

日、曜文字が大きくなっていますから大変見やすくなっています。

3) 分解・組立

分解は図の番号①→⑦の順序で分解してください。組立は図の番号⑦→①の順序で組立てください。

4) 注油

図中で次の記号は油の種類、量、注油個所を示します。

種類	注油量
●(赤) メービスA	●●●(赤) 多めに
●(青) セイコーウォッチ油S-4	●●(青) 標準量
●(紫) セイコーウォッチ油S-3	●(紫) 極く少量

これ以外に油を使用する個所は、別に示してありますので、確実に注油してください。

(注)指示のない個所には注油の必要がありません。

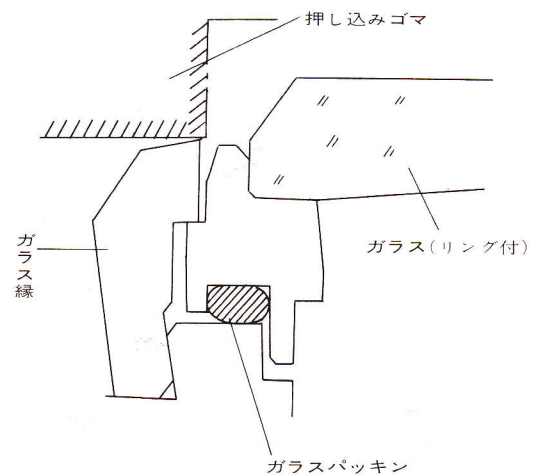
⊗印の個所には絶対に注油しないでください。



ムーブメント

外装構造の一例

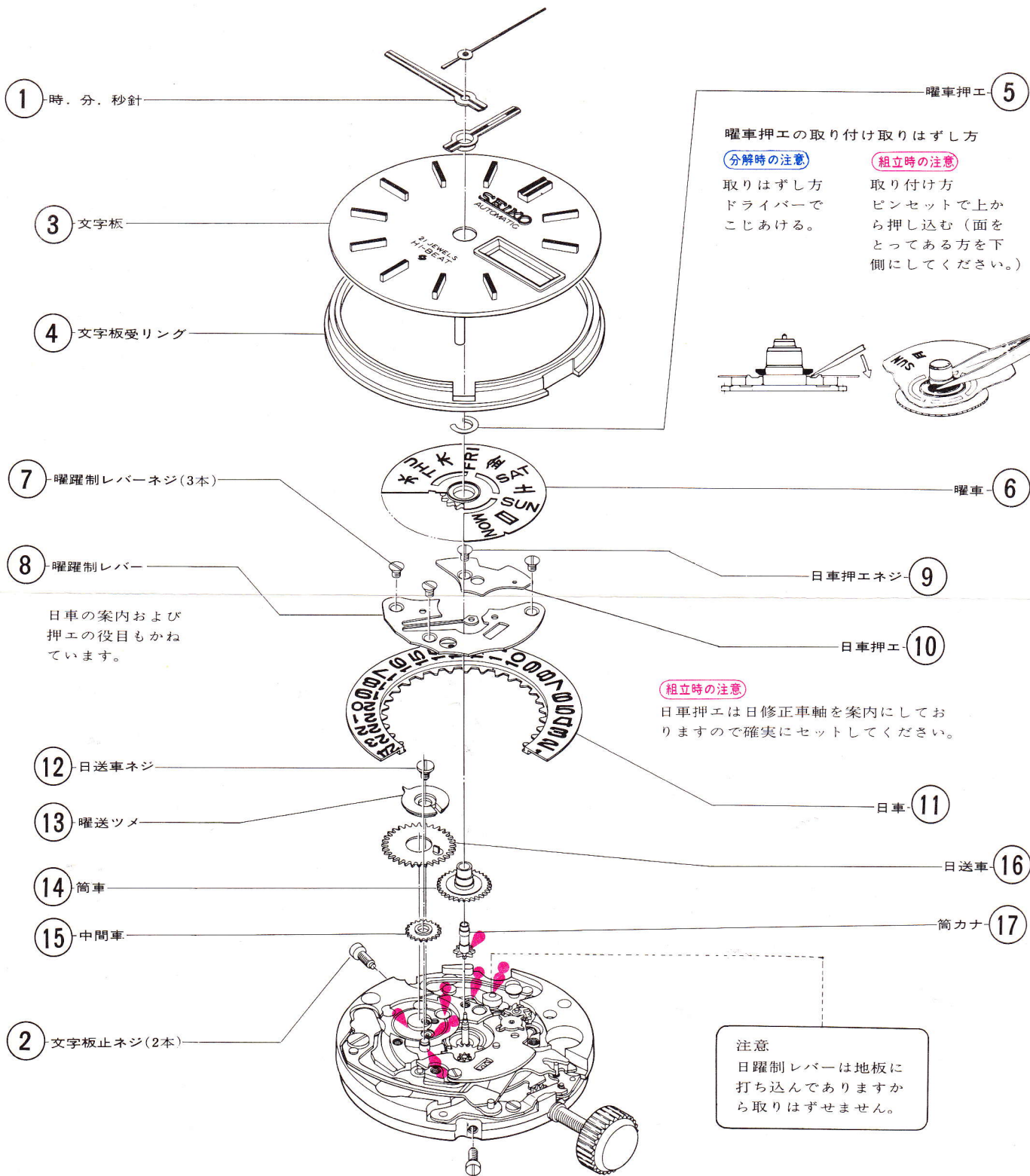
ガラス部が下図のような構造のモデルがあります。



組立時の注意

- (1)パッキン溝にパッキンを入れガラス縁をセットしてガラス縁を押し込んでください。
- (2)ガラス縁を押し込む押し込みゴマはガラスリングに当たらないものを使用してください。
- (3)ガラス縁のこじあけ口は元の所に合わせてください。
- (4)ガラスパッキンにはシリコングリースは塗布する必要はありません。

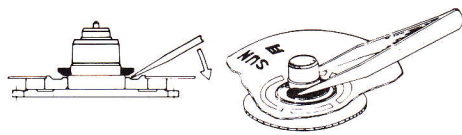
2706A カレンダー機構



曜車押エ 5

曜車押エの取り付け取りはずし方

分解時の注意	組立時の注意
取りはずし方 ドライバーで こじあける。	取り付け方 ピンセットで上か ら押し込む（面を とってある方を下 側にしてください。）



7 曜躍制レバーネジ (3本)

8 曜躍制レバー

日車の案内および
押エの役目もかね
ています。

9 日車押エネジ

10 日車押エ

6 曜車

組立時の注意
日車押エは日修正車軸を案内にしてお
りますので確実にセットしてください。

12 日送車ネジ

13 曜送ツメ

14 筒車

15 中間車

11 日車

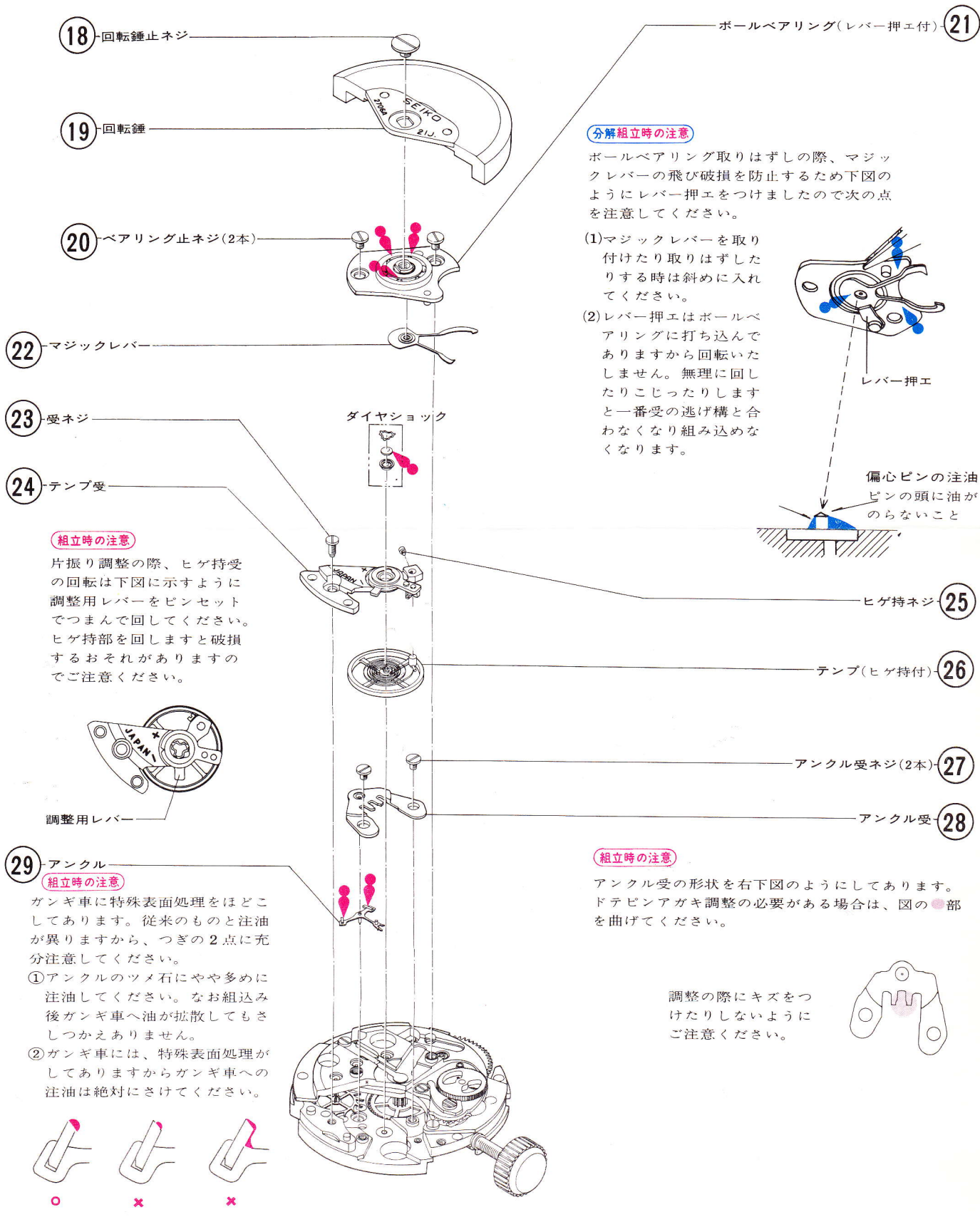
16 日送車

17 筒カナ

注意
日躍制レバーは地板に
打ち込んでありますから
取りはずせません。

注意 午後 8 時半頃から午前 3 時半頃までは、日・曜送り時間のため日・曜修正装置・
曜文字の和英切換機構は、はたらきません。

2706A 自動巻機構、脱進、调速機構



18 回転止ネジ

19 回転錘

20 ベアリング止ネジ(2本)

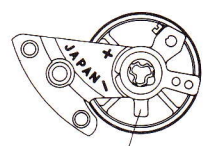
22 マジックレバー

23 受ネジ

24 テンプ受

組立時の注意

片振り調整の際、ヒゲ持受の回転は下図に示すように調整用レバーをピンセットでつまんで回してください。ヒゲ持部を回しますと破損するおそれがありますのでご注意ください。



調整用レバー

29 アンクル

組立時の注意

ガンギ車に特殊表面処理をほどこしてあります。従来のもものと注油が異なりますから、つぎの2点に充分注意してください。

- ① アンクルのツメ石にやや多めに注油してください。なお組込み後ガンギ車へ油が拡散してもさしつかえありません。
- ② ガンギ車には、特殊表面処理がしてありますからガンギ車への注油は絶対にさけてください。

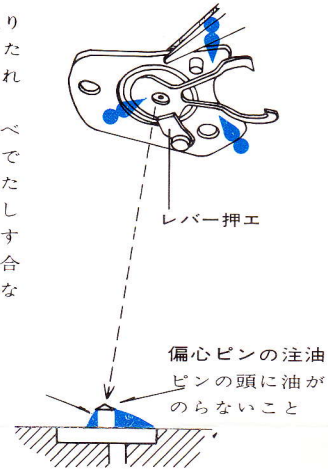


ボールベアリング(レバー押エ付) 21

分解組立時の注意

ボールベアリング取りはずしの際、マジックレバーの飛び破損を防止するため下図のようにレバー押エをつけましたので次の点に注意してください。

- (1) マジックレバーを取り付けたり取りはずしたりする時は斜めに入れてください。
- (2) レバー押エはボールベアリングに打ち込んでありますから回転いたしません。無理に回したりこじったりしますと一番受の逃げ溝と合わなくなり組み込めなくなります。



偏心ピンの注油
ピンの頭に油がのらないこと

ヒゲ持ネジ 25

テンプ(ヒゲ持付) 26

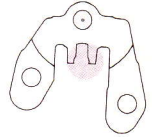
アンクル受ネジ(2本) 27

アンクル受 28

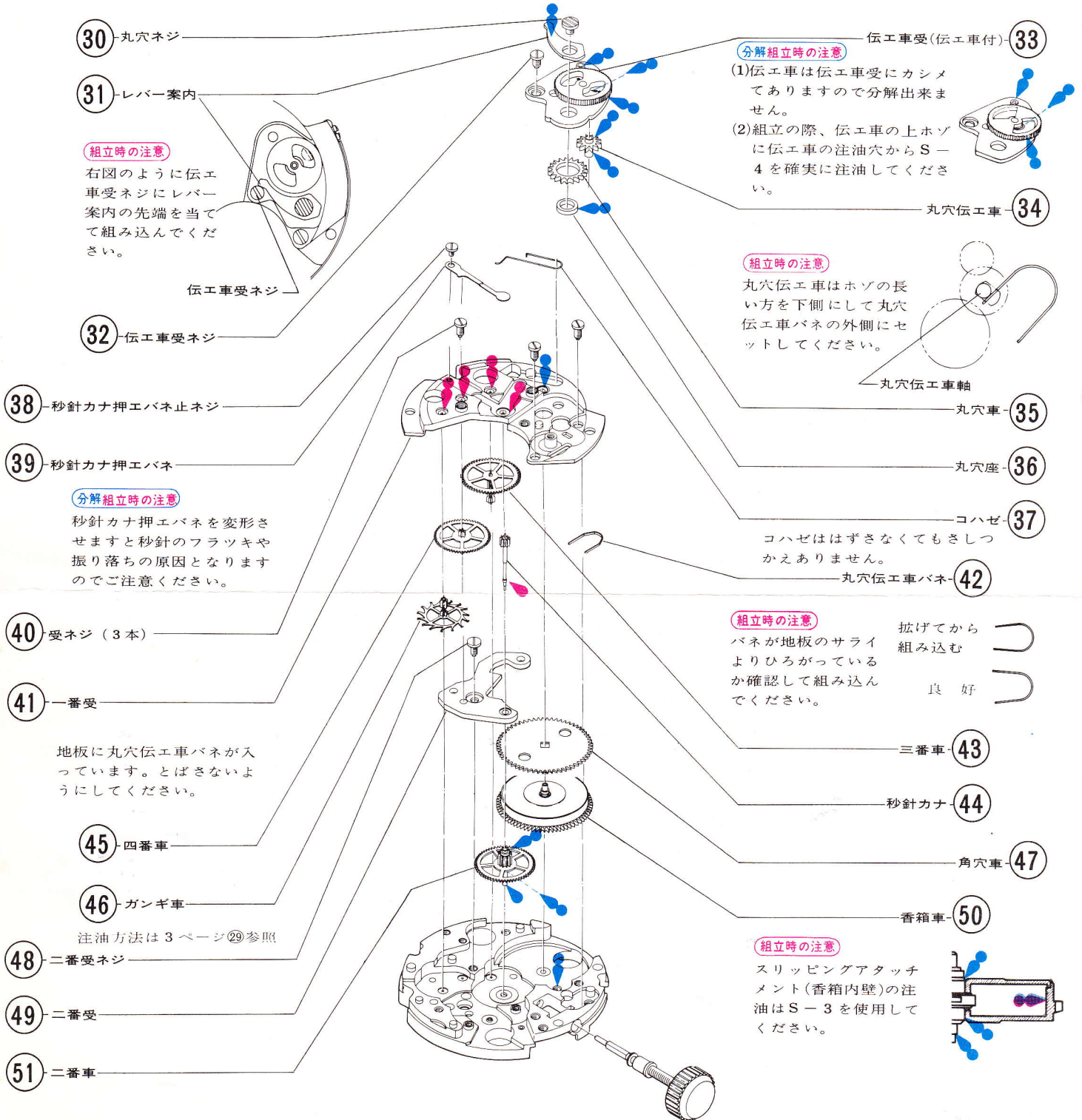
組立時の注意

アンクル受の形状を右下図のようにしてあります。ドテピンアガキ調整の必要がある場合は、図の●部を曲げてください。

調整の際にキズをつけたりしないようにご注意ください。

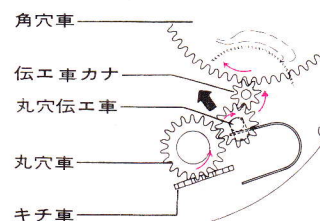


2706A 輪 列

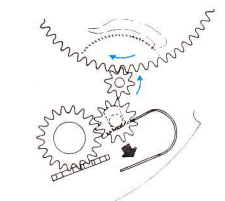


手巻機構の作動

リュウズを通常的位置で回転させると、丸穴伝エ車が伝エ車カナと噛み合いゼンマイ巻ができます。
自動巻機構が働いている時は、丸穴伝エ車が伝エ車カナからはずれるため手巻輪列が自動巻の巻上げ能力をそこなうことはありません。

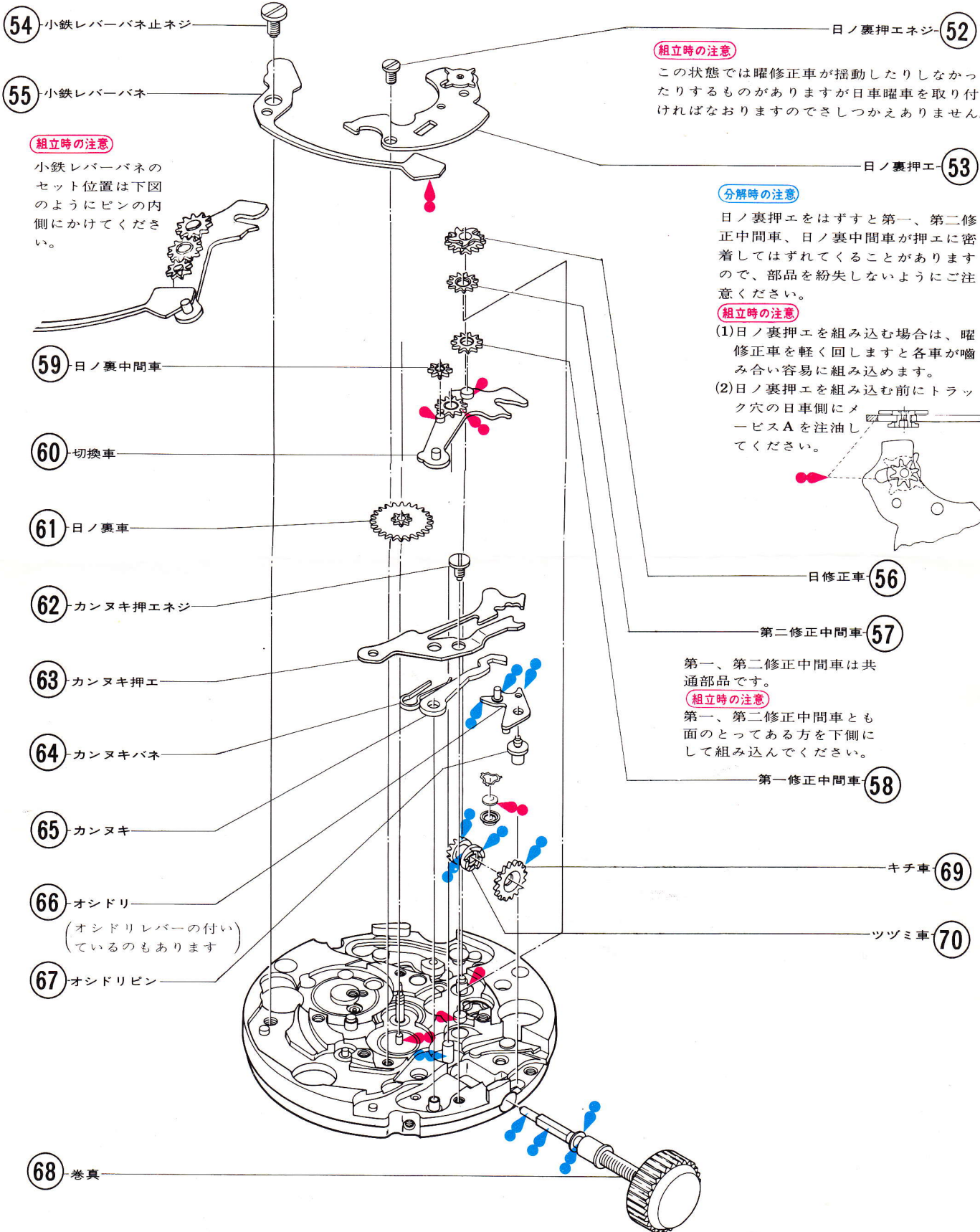


手巻の作動



自動巻の作動

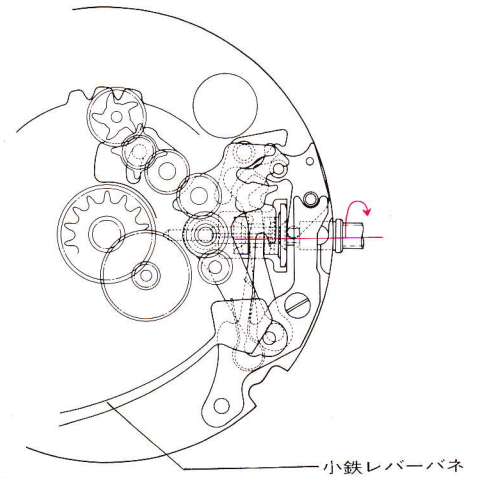
2706A 切換機構



2706A 切換機構

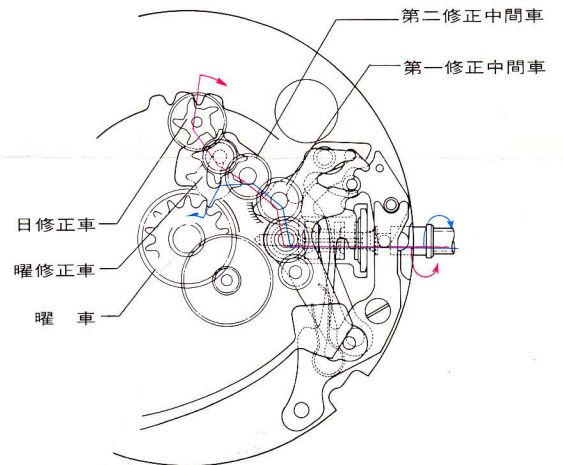
リュウズ通常位置（ゼンマイ巻）

キチ車とツヅミ車が噛み合っておりこの位置でリュウズを回すとゼンマイが巻かれます。



リュウズを二段目に引き出した位置（日・曜のセット）

ツヅミ車と小鉄車（小鉄伝エ車の下にあり小鉄伝エ車と一体に回転します）が噛み合い、この位置でリュウズを右回転させると曜車が、左回転させると日車が早送りできます。



リュウズを三段目に引き出した位置（時刻のセット）

切換車がオシドリに押され日ノ裏中間車と日ノ裏車が噛み合い、ここでリュウズを回わすと針が回ります。

